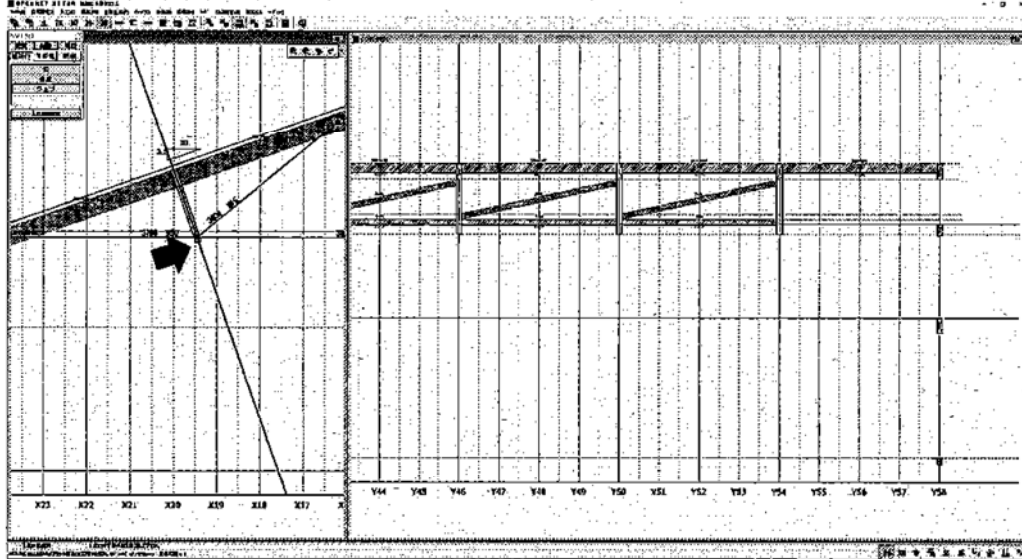


2次断面図入力機能を開発

ネットイーグル



画像左が断面図。右が断面図の断面図となる2次断面図

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は、ATAハイブリッドトラス構法に対応したプレカットCAD/CAMシステムで、勾配面となるトラスの「振れ止め」を通り断面で確認しながら入力できる「2次断面図入力」機能を開発した。垂直でない断面を自在に編集する機能で、複雑なトラスも効率的に入力できる。垂直面の断面図入力機能に続いて業界で初めて。

勾配面を自在に編集

ATAハイブリッドトラス構法は木材の上弦材（圧縮材）と丸鋼の下弦材（引っ張り材）を束材を介して接合するハイブリッドトラス構造。一般流通材で最大40センチまでの大スパンを実現できるのが特徴で、コ

ATAハイブリッドトラス構法は木材の上弦材（圧縮材）と丸鋼の下弦材（引っ張り材）を束材を介して接合するハイブリッドトラス構造。一般流通材で最大40センチまでの大スパンを実現できるのが特徴で、コ

ATAハイブリッドトラス構法は木材の上弦材（圧縮材）と丸鋼の下弦材（引っ張り材）を束材を介して接合するハイブリッドトラス構造。一般流通材で最大40センチまでの大スパンを実現できるのが特徴で、コ

で、振れ止めは木材でも丸鋼でも入力でき、屋根面でも入力できる。ソフトは同社のプレカットCAD「Xstar」に対応。アークデータ研究所の構造計算ソフトASTIMと連動し、同ソフトでトラス解析、部材断面算定、構造計算を実施したデータを読み込める。大型建築は特注の大型断面材を製作金物で接合して建てる時代から中小断面の一般流通材を市販の金物で接合して建てる時代が変わりつつある。ATAハイブリッドトラスはその代表例だが、CADがないと手計算で入力しなければならず、熟練した技術者でないと難しかった。

ATAハイブリッドトラス構法は木材の上弦材（圧縮材）と丸鋼の下弦材（引っ張り材）を束材を介して接合するハイブリッドトラス構造。一般流通材で最大40センチまでの大スパンを実現できるのが特徴で、コ

ATAハイブリッドトラス構法は木材の上弦材（圧縮材）と丸鋼の下弦材（引っ張り材）を束材を介して接合するハイブリッドトラス構造。一般流通材で最大40センチまでの大スパンを実現できるのが特徴で、コ

ATAハイブリッドトラス構法は木材の上弦材（圧縮材）と丸鋼の下弦材（引っ張り材）を束材を介して接合するハイブリッドトラス構造。一般流通材で最大40センチまでの大スパンを実現できるのが特徴で、コ

ATAハイブリッドトラス構法は木材の上弦材（圧縮材）と丸鋼の下弦材（引っ張り材）を束材を介して接合するハイブリッドトラス構造。一般流通材で最大40センチまでの大スパンを実現できるのが特徴で、コ

ATAハイブリッドトラス構法は木材の上弦材（圧縮材）と丸鋼の下弦材（引っ張り材）を束材を介して接合するハイブリッドトラス構造。一般流通材で最大40センチまでの大スパンを実現できるのが特徴で、コ

ATAハイブリッドトラス構法は木材の上弦材（圧縮材）と丸鋼の下弦材（引っ張り材）を束材を介して接合するハイブリッドトラス構造。一般流通材で最大40センチまでの大スパンを実現できるのが特徴で、コ